

(一社)和歌山県臨床工学技士会 令和2年度第7回定例理事議事録

開催日時 令和3年3月30日(火) 19:00~20:20

場所 : Zoom

出席 : 坂本、山崎、土井、西手、芝崎、松本、橋本、土生川、原口、山口、山下

欠席 : 中村、米田、稲垣、有馬

議長 : 坂本、西手

書記 : 山下

敬称略 以下同様

1. 報告事項

1) 理事長 坂本

- ・近畿協会議での議事録署名対応を実施。

2) 事務局 西手

- ・入退会手続きについて

▷退会手続き 1名

- ・3/12:新入学者へメッセージを送付(大阪ハイテクノロジー専門学校)。

- ・役員改選について

▷役員立候補・推薦申請、事務局に19通送付。

[内訳:理事・立候補14名、理事会推薦3名、監事・立候補2名]

- ・3/18:選挙管理委員とmailにて打ち合わせ実施。

▷委員長 日赤和歌山医療センター・前田氏、委員 紀南病院・椿野氏

- ・HP更新について(橋本)

▷第6回理事会議事録掲載の準備中(理事長の最終確認中)。

3) 会計部 米田

特記事項なし

4) 法規部 米田

特記事項なし

5) 渉外 土井

- ・近畿臨床工学技士会連絡協議会出席の報告事項

▷出席者(坂本・西手・土井)

2021年近臨工学会は大阪担当、対面・リモートのハイブリッドで開催。

2022年近臨工学会は滋賀県担当。

- ・病院協会会議出席の報告事項

▷2021年11/23:学術大会開催予定・会場:アバローム紀ノ國

テーマ「新型コロナウイルス感染症対策について」

シンポジウムを開催予定。

(当会を除く5団体よりシンポジスト選出 ※当会は昨年度担当したため免除)

▷演題数や応募方法は例年通りで開催に向け準備を行う。

▷次回大会からは参加費無料（現行¥1,500-¥2,000 円）とする方針、但し事前登録必須

▷優秀演題の副賞としての図書カードを¥1,000→¥2,000 円に変更するとのこと。

6) 安全・教育 中村

特記事項なし

7) 災害 山崎

- 3/23：日本臨床工学技士会 災害時情報コーディネーターweb 会議出席の報告事項

出席者（山崎、土井、松本、芝崎、山口、植木） 以下、資料を供覧し説明、報告。

▷第31 回日本臨床工学会（担当：熊本県臨工）で災害対策委員会企画の特別講演、パネルディスカッション
開催予定。開催周知、参加依頼あり。

▷災害支援に関する規定について

公益社団法人日本臨床工学技士会 災害対策要綱（別紙1）を供覧し説明、報告

土井理事より補足。最終的に災害時の情報共有を EMIS（広域災害救急医療情報システム）に一本化する

との見解であるが、現状は今回紹介された ML 等の併用が必要とのこと。引き続き情報共有と周知を行う。

8) 学術 稲垣、山口、原口

特記事項なし

9) 編集 芝崎

- 2021 年 3 月発行の『一社 和歌山県臨床工学技士会誌 No.13, Part.2』について

▷表紙ロゴの文字表記に誤植あり。理事長及び事務局長と相談し訂正文を WEB 掲載済
別紙文面（別紙2）を次回会員への発送物へ同封予定。

10) 血液浄化部門 松本、有馬

- 血液浄化部会勉強会開催について

▷「シャント穿刺が上達するノウハウ 20 選」

講師：松本 真季（日本赤十字社和歌山医療センター 臨床工学技術課）

開催日時：3/13 19:00-20:00

開催形式：ZOOM を使用したリモート開催のみ

その他詳細は後日開催報告書にて共有。

- 製薬会社共催の勉強会開催について

▷アステラス製薬他 1 社より共催依頼あり。稲垣理事と情報共有し開催準備を行う。

11) 人工呼吸器部門 山下

- 第 2 回わかやま呼吸療法セミナー開催について

▷テーマ：「新型コロナウイルス感染症に対する呼吸療法」

講師：小林 謙一郎先生（日本赤十字社和歌山医療センター 感染症内科）

是枝 大輔先生（日本赤十字社和歌山医療センター 集中治療部）

城 崇友技士（日本赤十字社和歌山医療センター 臨床工学技術課）

山下 繁（日本赤十字社和歌山医療センター 臨床工学技術課）

開催日時：3/13 18:00-20:10

開催形式：ZOOM を使用したリモート開催のみ

参加人数：37名

開催報告書を供覧し報告実施。その他詳細は報告書参照（別紙3）。

第1回と今回の開催実績とを併せ、3学会合同呼吸療法認定士の単位取得認定セミナーの申請を進める。

▷坂本理事長より以下質問あり

セミナーの受付、受講書の発行、送付に関する労力・負担はどれくらいか？

→山下にて以下回答

受付は呼吸器部会で作成した Google アカウントで Google フォームや関連する拡張機能を利用し自動化したため以前より負担は軽減。受講証は、手動にて受講のお礼と共に添付送信。前回は受講証発行を行っていなかったため負担増。今回の運用フローは、今後導入予定のピーティックスを使用した受講管理フローとほぼ同様であるが、ピーティックス運用での受講証の発行、送付がどこまで自動化されるかが労力面に影響すると思われる。

受講証の発行形式について、理事長印捺印、紙面送付でなくても良いのか？

→山下にて以下回答

認定事務局の指示にて作成（要シリアル採番、PDF可、メール送付可を確認済）している。理事長印は米田理事に確認しスキャンデータを使用することとした。受講者に対して3月末までの送信を予定している。

▷日本赤十字社和歌山医療センター院長名で上記4名の講師派遣承諾書を受取り（西手事務局長）

12) 循環器部門 橋本

特記事項なし

13) 人材活性・ME 機器部門 土生川

•ME 機器部会について

▷第1回 医用テレメータ勉強会を開催

講師：二井 吉一様（日本光電工業株式会社カスタマーサービス）

開催日時：3/4 18:00-

開催形式：ZOOM を使用したリモート開催のみ（事前録画動画の共有）

参加人数：24名

開催報告書を供覧し報告実施。他の部会のリモート開催に活用できる運用情報を詳細に報告された。

その他詳細は報告書参照（別紙4）。

▷4/1：第2回 医用テレメータ勉強会開催予定（第1回と同じ内容）

周知および参加を依頼。

•人材活性について

特記事項なし

14) Yボード 山口

•3/6:日臨工全国 Y ボード担当者会議の参加報告(19:00-21:00)

▷1都道府県2分程度の活動報告・PRを実施。

当会からは、昨年末に開催した若手向けの忘年会の開催報告を行った。

•3/29:近畿地区 Y ボード担当者会議の参加報告(19:00-)

▷来年度の近畿臨床工学会（大阪府臨工担当）で開催される Y ボード企画のシンポジウムの開催内容について

→詳細決定せず、来週再度会議を開催。山口理事参加予定

2. 審議事項

・定款について

▷西手事務局長より以下の議題の提案あり

①事務局保管の定款冊子（一般社団法人設立時の平成21年8月6日に制定、現在も入会時に会員に送付）、当会HPに掲載されている定款の第4章の役員の箇所に“会長”、“副会長”の記載を確認。

以後の項にも同記載がある。現在、“理事長”、“副理事長”で呼称、書面作成等の会運営を行っているが、定款に準拠していない。“副理事長”の定数も異なる。

②定款では、定例理事会開催間隔（回数）が、毎月1回となっており現行の開催回数と乖離がある。

①②に対し、来年度総会等に議案提議し、定款、運用のどちらかを変更する必要があるではないか？

→坂本理事長、土井副理事長にて以下回答

指摘の内容に関しては、前土井理事長の任期中の総会で議案提議され承認、改定されている。また、役員改選毎に法務局に登記を行う必要があり、その時点で定款の改定箇所については登記書類に都度反映されているはず。後日、前理事長（土井）、前事務局長（坂本）、法規部の米田理事等を交え詳細を確認する。指摘箇所は、顧問会計士とも相談の上、定款を改訂し発刊・周知を行う。その他詳細や発刊方法（冊子または電子書面）に関しては継続して検討する。

・会誌の内容について

▷芝崎理事より以下の議題の提案あり

会員の研鑽・勉強を目的とした記事の掲載を考えている。前回会誌の中村副理事長の投稿記事のような会員に向けて『勉強資料(仮)』を検討中。資料に関しては、理事が作成、内容は作成者に一任、枚数がA4:5-20ページ程度で考えている。投稿者は坂本理事長、芝崎理事にて人選、依頼する。

→特段追加、質問等なく承認された。

3. その他

・総会開催日程・予定について

▷坂本理事長より以下の提案あり

- ・学術集会と同時開催するかどうか（スケジュール的に総会のみが現実的か）
- ・開催形式（今年度同様web開催のみが現実的か）
- ・準備期間を考慮し6月下旬開催
- ・週末は学会等ともブッキングするため平日夜開催も考慮。ただし、役員の勤務・業務都合も鑑み週末開催もあわせて検討（総会のみ開催を前提？）

候補日 6/23,24,25,27

→坂本理事長が役員MLで上記案の多数決をとり決定する。

Web配信拠点は今年度と同様近畿大生物理工学部キャンパスを借用することも同時に承認された。

・次回理事会開催について

▷坂本理事長より以下の提案あり

- ・総会前に開催
- ・5月末に開催予定

→特段追加、質問等なく承認された。

• 今後の日本臨床工学会開催について

▷ 土井副理事長より 3/29：日臨工緊急会議出席の報告あり

• 政令指定都市以外での地方開催の負担軽減、運営の安定化を考慮し開催運営は JTB に委託する
(以後の運営委託会社の選定は競争入札制を導入)

• 政令指定都市以外の地方技士会主催の開催でも会場は近隣政令指定都市を考慮。

→ 特段追加、質問なし。

議事録署名人

坂本 亮輔
中村 一貴
土井 照雄
山崎 将哉
西手 芳明
稲垣 伸光
橋本 幹也
芝崎 裕順
土生川 仁美
松本 真季
原口 晃一
山口 倫也
山下 繁

